

認知症の方を介護されている ご家族・ケアスタッフの方へ

新型コロナウイルス感染症対策 5つのポイント

ポイント① いつも以上に体調に気をつける

- **認知症の方は体調の変化を訴えることが難しい**場合があります。周囲の人がいつも以上に注意して体調を確認します。
- 新型コロナウイルスは発症後～7日目までが急変しやすい時期です。**呼吸器系の観察を重点に**しましょう。

<体調チェックポイント>

- 毎日朝と夕の検温（37℃台になっていないか）
- 呼吸の仕方（いつもより苦しそう・呼吸が浅い）

→ **酸素飽和度***の計測は有効です

- 味がおかしい・匂わない
- 体のだるさはないか
- 鼻水が出ていないか
- 食事量の変化

1つでも当てはまったら
裏面の

ポイント④

ポイント⑤

へ 

*酸素飽和度…経皮的酸素飽和濃（SpO2）という、動脈の赤血球にどれくらい酸素が結合しているかを示す値を計ります。この値は酸素が体内に十分取り込めているかを反映します。健康な方は96～100%ですが、肺炎などの原因によって低下します。

ポイント② マスクの着用・手洗いをする

感染ルートは、**飛沫感染**と**接触感染**です。マスクの着用は、飛沫感染を予防するために有効な手段です！ご本人も可能な限り**マスクを着用**しましょう。

Q.マスクをしてくれず困っています。

A. マスクが必要な理由を伝えましょう。
それでも無理な場合は家族やケアスタッフがマスクやフェイスシールドをします。
本人はできる気分の時にしてもらいます。大きな声で話さないよう（唾液が飛び散ります）周りが配慮します。

Q.手洗いをしてくれず困っています。

A. 手洗いを拒否するときは、除菌効果のあるシートやアルコールを使い手を拭きましょう。



ポイント③ 徘徊してしまった時は要注意！

徘徊してしまうと行動範囲がわかりません。

戻って来たらまずは手洗いをしてもらい、可能であれば着替えます。

徘徊した日を含め、その後数日間は特に体調確認を徹底します。（潜伏期間は1～6日が多いです）外出はなるべく控えます。

支援者自身も体調の変化がないか観察します。

ポイント④ 「体調に異変がある」時は感染の可能性を考えながら対応！

- 可能であれば部屋を分けます。
- 接触する際はマスク、ゴーグル、フェイスシールドなどを着用し、飛沫を浴びないように。
- 関わる人、ケアする人を限定します。
- 共用部分は消毒をします。



ワンポイント

ご本人に状況をしっかりと説明し、適切な声かけを行いましょう。

認知症の方は急に環境が変わると混乱します。様子を見ながらできる対策をしましょう。

ポイント⑤ かかりつけ医へ相談する



- 体調面で心配なことや困ったことがあれば、まずはかかりつけ医に相談しましょう。
- かかりつけ医がない場合は下記へご連絡ください。受診の相談に乗ってくれます。

中野区新型コロナ受診相談電話（帰国者・接触者電話相談センター）
03-3382-6532（平日9～17時）

東京都・特別区・八王子市・町田市合同電話相談センター
03-5320-4592（休日、夜間）

- 体調変化時にかかりつけ医が診察してくれるか平常時から確認しておくことが必要です。